平成22年10~12月期平均の結果

<1世帯当たりの1か月平均の消費支出>

総世帯は, 261,195 円

前年同期比 名目 1.2%の減少 実質 1.4%の減少

二人以上の世帯は, 299,550円

前年同期比 名目 1.3%の減少 実質 1.5%の減少

単身世帯は, 169,535円

前年同期比 名目 0.9%の減少 実質 1.1%の減少

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除(住居等)>

総世帯は, 前年同期比 実質 0.7%の減少

二人以上の世帯は, 前年同期比 実質 0.9%の減少

単身世帯は, 前年同期比 実質 0.2%の減少

:「住居」のほか,「自動車等購入」,「贈与金」,「仕送り金」を除いている。また,実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合) を用いた。以下同じ。

<勤労者世帯の収支>

総世帯は, 実収入 前年同期比 実質 2.0%の増加

可処分所得 前年同期比 実質 2.2%の増加

消費支出 前年同期比 実質 0.1%の増加

平均消費性向 62.2 %

二人以上の世帯は, 実収入 前年同期比 実質 1.3%の増加

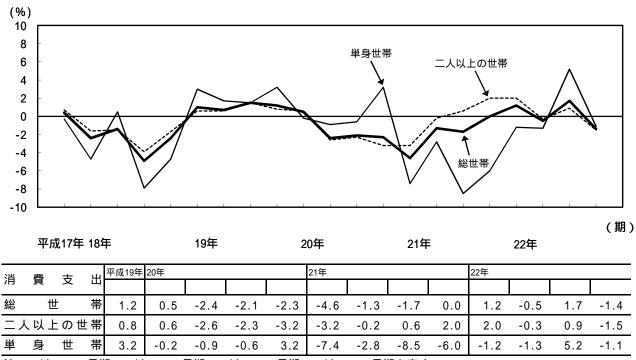
可処分所得 前年同期比 実質 1.5%の増加

消費支出 前年同期比 実質 0.9%の増加

平均消費性向 63.8 %

消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



注 は1~3月期, は4~6月期, は7~9月期, は10~12月期を表す。

図2 消費支出(除く住居等)の対前年同期実質増減率の推移

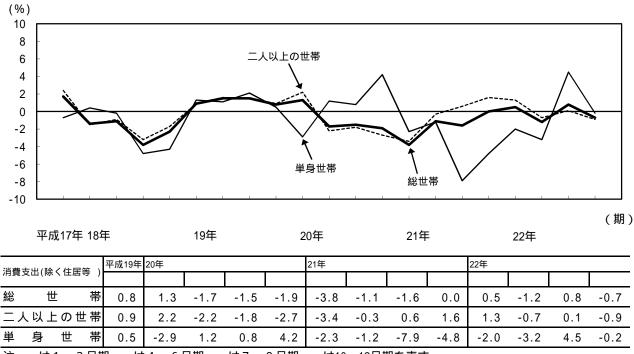
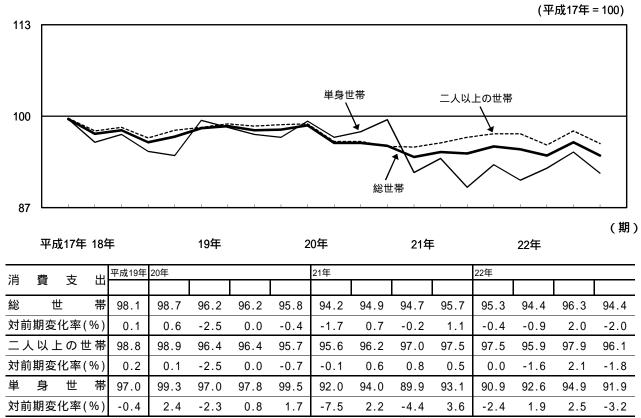
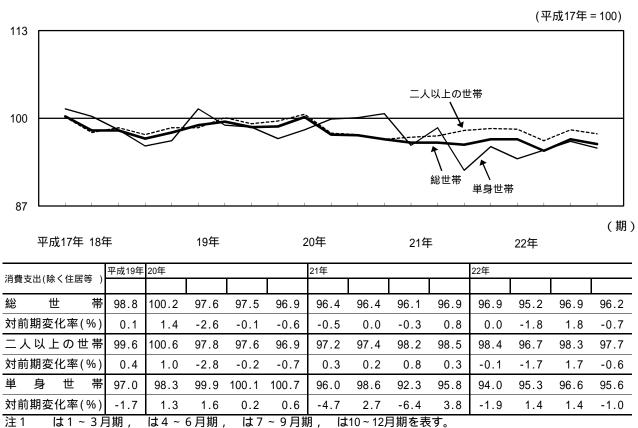


図3 消費支出(季節調整済実質指数)の推移



注 1 は 1 ~ 3 月期 , は 4 ~ 6 月期 , は 7 ~ 9 月期 , は 10~12月期を表す。 2 季節調整の方法は ,センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

図4 消費支出(除く住居等)(季節調整済実質指数)の推移



² 季節調整の方法は , センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

. 総世帯 (「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯)

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳(平成22年10~12月期-総世帯)

項目	金額	対前年同期	期増減率(%)	実質増減 率 へ の		摘要	備考
垻 戸	(円)	名 目	実 質	寄 与 度 (%)		1间 女	MH 5
消費支出	261,195	-1.2	-1.4	-1.4			2期ぶりの実質減少
食 料	62,416	-0.9	-2.2	-0.51	<減	少>野菜・海藻,魚介類など	3 期連続の実質減少
住居	19,401	2.7	3.2	0.23	<増	加>家賃地代,設備修繕•維持	4期連続の実質増加
光 熱 · 水 道	17,567	3.9	0.8	0.05	<増	加>電気代,上下水道料	7期連続の実質増加
家具・家事用品	9,720	4.2	8.3	0.29	<増	加>家庭用耐久財,家事用消耗品など	8 期連続の実質増加
被服及び履物	11,250	-6.8	-6.0	-0.27	<減	少> 洋服,シャツ・セーター類など	2期ぶりの実質減少
保健医療	11,234	-4.2	-4.1	-0.18	<減	少> 保健医療サービス	4期連続の実質減少
交通・通信	32,808	-4.9	-5.1	-0.66	<減	少>自動車等関係費,通信	2期ぶりの実質減少
教 育	7,943	-9.2	4.4	0.14			
教 養 娯 楽	30,704	3.9	4.9	0.55	<増	加>教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品	2期ぶりの実質増加
その他の消費支出	58,153	-2.4	(-2.6)	(-0.59)	<減	少> 交際費, こづかい	2期ぶりの減少

注1 「摘要」欄は,消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし,「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<減少項目>	実質寄与度		
交際費	[-0.74]	••••	贈与金
自動車等関係費	[-0.58]	• • • •	自動車購入,自動車整備費
諸雑費	[-0.40]	• • • •	たばこ,非貯蓄型保険料
保健医療サービス	[-0.35]	• • • •	医科診療代,歯科診療代
野菜・海藻	[-0.17]	• • • • •	トマト,キャベツ
洋服	[-0.12]	• • • •	婦人服
<増加項目>			
教養娯楽用耐久財	[1.02]	• • • •	テレビ,ビデオデッキ
家庭用耐久財	[0.31]	• • • •	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
家賃地代	[0.20]	• • • •	公営家賃,民営家賃
電気代	[0.14]		
医薬品	[0.12]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

^{2 「}教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

^{3 「}その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数 (持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

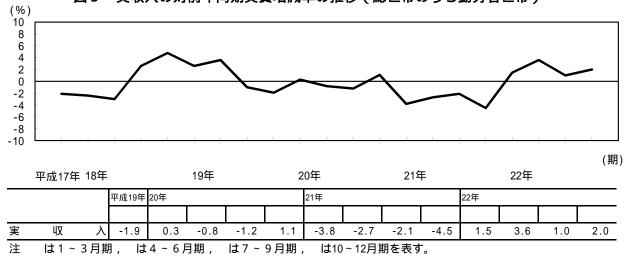
² 交際費の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳(平成22年10~12月期 - 総世帯のうち勤労者世帯)

項目	金額	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の	備考
吳 日	(円)	名目	実質	寄 与 度 (%)	M 5
実 収 入	551,839	2.2	2.0	2.0	4 期連続の実質増加
世帯主収入	457,352	0.7	0.5	0.39	4 期連続の実質増加
定期収入	331,759	0.9	0.7	0.43	4 期連続の実質増加
臨時収入・賞与	125,592	0.0	-0.2	-0.04	2 期連続の実質減少
配偶者の収入	47,489	4.4	4.2	0.35	4 期連続の実質増加
う ち 女 性	46,478	2.9	2.7	0.23	4 期連続の実質増加
他の世帯員収入	8,560	22.4	22.2	0.29	3 期連続の実質増加
非消費支出	87,318	1.2	-	-	4 期連続の増加
可 処 分 所 得	464,521	2.4	2.2	-	4 期連続の実質増加
消費支出	289,093	0.3	0.1	-	2 期連続の実質増加
平均消費性向(%)	62.2	(前年同期) 63.5	(ポイント差) -1.3		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移(総世帯のうち勤労者世帯)



二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳(平成22年10~12月期-二人以上の世帯)

項目	金 額 (円)	対前年同期	期増減率(%)	実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)		摘 要	備考
	299,550	-1.3	-1.5	-1.5			2期ぶりの実質減少
食 料	72,160	-0.7	-2.0	-0.48	<減	少>野菜・海藻,魚介類など	3 期連続の実質減少
住 居	19,167	5.0	5.5	0.33	<増	加>家賃地代,設備修繕•維持	4期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	20,594	3.6	0.5	0.03	<増	加> 電気代など	7期連続の実質増加
家具・家事用品	11,687	5.5	9.7	0.35	<増	加>家庭用耐久財,寝具類など	7期連続の実質増加
被服及び履物	12,698	-6.0	-5.1	-0.23	<減	少> 洋服,シャツ・セーター類など	2期ぶりの実質減少
保健医療	13,422	-4.6	-4.5	-0.21	<減	少> 保健医療サービスなど	4期連続の実質減少
交通・通信	37,266	-6.0	-6.2	-0.80	<減	少> 自動車等関係費,通信など	6期ぶりの実質減少
教 育	11,127	-10.5	2.9	0.12	<増	加> 授業料等など	2 期連続の実質増加
教 養 娯 楽	34,541	6.0	7.1	0.76	<増	加>教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービスなど	2期ぶりの実質増加
その他の消費支出	66,888	-3.6	(-3.8)	(-0.86)	<減	少> 交際費, 諸雑費など	11期連続の減少

注1 「摘要」欄は,消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし,「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品目

<減少項目>	実質寄与度		
自動車等関係費	[-0.74]	••••	自動車購入,自動車等関連用品
諸雑費	[-0.69]	• • • •	非貯蓄型保険料,たばこ
交際費	[-0.53]	• • • •	贈与金
保健医療サービス	[-0.33]	• • • •	医科診療代,歯科診療代
野菜・海藻	[-0.20]	• • • •	トマト,キャベツ
補習教育	[-0.16]	• • • •	中学校補習教育,幼児・小学校補習教育
<増加項目>			
教養娯楽用耐久財	[1.12]	• • • •	テレビ,ビデオデッキ
家庭用耐久財	[0.38]	• • • •	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
授業料等	[0.31]	• • • •	専修学校,私立大学
家賃地代	[0.20]	• • • •	公営家賃,民営家賃
設備修繕•維持	[0.14]	• • • •	他の工事費 [*] ,給排水関係工事費
電気代	[0.14]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

^{2 「}その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

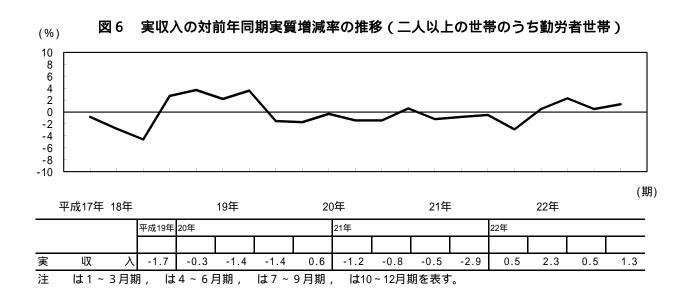
² 交際費の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

^{* 「}他の工事費」には、「給排水関係工事費」や「外壁・塀等工事費」以外の住宅に関する工事費等が含まれる。

2 勤労者世帯の収支

表 4 収支の内訳(平成22年10~12月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	金額	対前年同!	対前年同期増減率(%)		備考	
垻 口	(円)	名目	実質	寄 与 度 (%)	iii 55	
実 収 入	607,063	1.5	1.3	1.3	4 期連続の実質増加	
世帯主収入	484,258	-0.6	-0.8	-0.64	2 期連続の実質減少	
定期収入	351,397	-0.5	-0.7	-0.42	2期ぶりの実質減少	
臨時収入・賞与	132,861	-0.8	-1.0	-0.23	2 期連続の実質減少	
配偶者の収入	63,926	2.4	2.2	0.23	4 期連続の実質増加	
うち女性	62,566	1.0	0.8	0.08	5 期連続の実質増加	
他の世帯員収入	11,524	20.1	19.9	0.32	3 期連続の実質増加	
非消費支出	95,225	0.4	-	-	2 期ぶりの増加	
可 処 分 所 得	511,838	1.7	1.5	-	4 期連続の実質増加	
消費支出	326,590	1.1	0.9	-	2 期連続の実質増加	
平均消費性向(%)	63.8	(前年同期) 64.2	(ポイント差) -0.4			



. 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳(平成22年10~12月期-単身世帯)

項目	金額	対前年同期	阴増減率(%)	実質増減 率 へ の		摘要	備考
界	(円)	名 目	実 質	寄 与 度 (%)]间 安	· ・ ・
消費支出	169,535	-0.9	-1.1	-1.1			2期ぶりの実質減少
食 料	39,131	-1.7	-3.0	-0.69	<減	少>外食,野菜・海藻など	3期連続の実質減少
住居	19,959	-2.3	-1.8	-0.22	<減	少> 設備修繕・維持	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	10,332	4.7	1.6	0.09	<増	加>電気代,上下水道料	7期連続の実質増加
家具・家事用品	5,019	-3.2	0.6	0.02	<増	加>家事サービス,家事用消耗品など	3 期連続の実質増加
被服及び履物	7,789	-9.9	-9.1	-0.46	<減	少> 洋服,和服など	2期ぶりの実質減少
保 健 医 療	6,004	-2.2	-2.1	-0.07	<減	少> 保健医療サービス	4期ぶりの実質減少
交通・通信	22,157	-0.5	-0.7	-0.09	<減	少>通信	2期ぶりの実質減少
教 育	340	-	-	-			
教 養 娯 楽	21,534	-3.6	-2.6	-0.34	<減	少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物	3 期連続の実質減少
その他の消費支出	37,269	2.4	(2.2)	(0.46)	<増	加> 仕送り金, 諸雑費	4期連続の増加

- 注1 「摘要」欄は,消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし,「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 - 2 「教育」については,詳細な収支項目別の集計を行っていない。また,消費支出全体に占める割合が小さいことから,増減率については掲載していない。
 - 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数 (持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<減少項目>	実質寄与度		
交際費	[-1.61]	••••	贈与金
外食	[-0.49]	• • • •	飲酒代,中華食
保健医療サービス	[-0.48]	• • • •	医科診療代,歯科診療代
教養娯楽サービス	[-0.47]	• • • •	語学月謝,映画·演劇等入場料
設備修繕•維持	[-0.42]	• • • •	外壁•塀等工事費,給排水関係工事費
通信	[-0.33]	• • • •	移動電話通信料,郵便料
洋服	[-0.28]	••••	婦人服,背広服
<増加項目>			
諸雑費	[0.80]	• • • •	冠婚葬祭費,かばん類
教養娯楽用耐久財	[0.58]	• • • •	テレビ
医薬品	[0.27]		

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 - 2 交際費の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

<参考>

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度(平成22年10~12月期-総世帯)

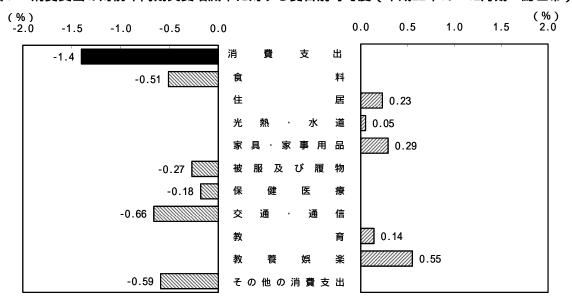


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度(平成22年10~12月期 - 二人以上の世帯)

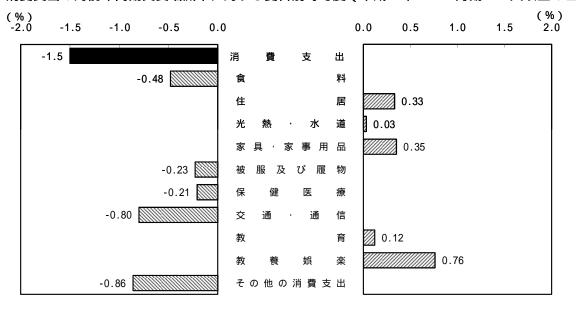
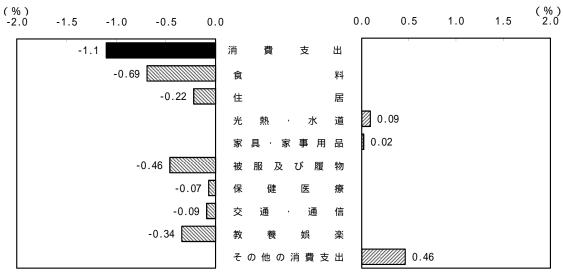


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度(平成22年10~12月期-単身世帯)



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数 (持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。